

令和 6 年度白樺学園高等学校との包括連携協定事業 (3 学年) 総括 (案)

1 事業の根拠

- (1) 芽室町自治基本条例第 3 条第 6 号 (議会と議員活動の原則)
- (2) 芽室町議会基本条例第 2 条第 4 項 (基本理念)
- (3) 芽室町議会基本条例第 8 条第 1 項 (町民参加及び町民との連携)
- (4) 白樺学園高等学校と芽室町議会の包括連携協定書第 1 条

2 事業目的

包括連携協定に基づき、「地方自治の担い手意識の醸成」、「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」とする。

3 実施実績 11 月 4 日 (月) ～ 6 日 (水)、10 日 (月)、11 日 (火) の 5 日間

- (1) 11 月 4 日 (月) D 組 32 名
担当：厚生文教常任委員会 (立川、小笠原、橋本、中村、西尾、梶澤、渡辺)
 - (2) 11 月 5 日 (火) A 組 23 名
担当：総務経済常任委員会 (堀切、菊池、伊藤、正村、渡辺)
 - (3) 11 月 6 日 (水) B 組 22 名
担当：厚生文教常任委員会 (立川、小笠原、橋本、梶澤、渡辺)
 - (4) 11 月 10 日 (月) C 組 32 名
担当：総務経済常任委員会 (木村、堀切、菊池、伊藤、早苗、鈴木、渡辺)
 - (5) 11 月 11 日 (火) E 組 32 名
担当：厚生文教常任委員会 (立川、菊池、伊藤、橋本、堀切、早苗、中村)
- ※ 3 学年 141 名中 132 名の参加 (公欠等もあり)**

4 グループワーク内容

- (1) 10 年後どこに住んで、どんな仕事をしていますか。
- (2) 10 年後、住んでいる地域に「なくてはならないもの」、「あったらいいな」と思うものは。
- (3) 10 年後、あなたは住んでいるところとどのような関わり合いを持っていたいと思いますか。
- (4) 10 年後、あなたはどんなことに挑戦してみたいですか。地域との関わりも含めてなっていたい姿は。
- (5) 選挙について
- (6) 議会の概要と広聴について説明

(7) 要望したいこと、生活の中で気になっていること、環境をよくしてほしいことなど。

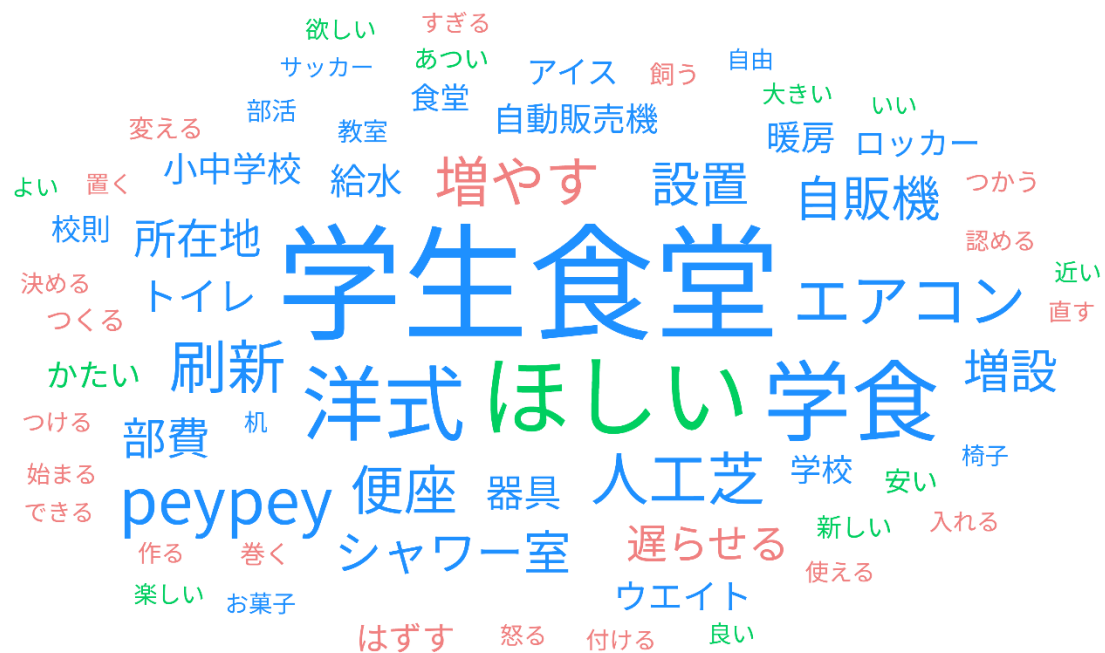
5. 4の(7)で出された意見

学校に関すること	地域に関すること
エアコン設置してほしい	街灯を増やしてほしい
エアコン設置	街灯を多くしてほしい
エアコン	街灯を増やしてほしい
エアコンほしい	街灯を増やしてほしい
エアコンの設置	街灯を増やしてほしい
エアコン設置	自転車が通る車道を広くしてほしい
エアコン付けてほしい	自転車専用道路を増やす(わかりやすく)
エアコン	自転車用の道をちゃんとしたのをつくって
エアコン	自転車専用の道路をつくってほしい
エアコン	自転車で通る道路を整備してほしい
エアコン	自転車用のレーンの設置、拡幅、整備
エアコン	道路をきれいにしたい
エアコン	道を整備してほしい
冷房をつけてほしい	道をきれいにしてほしい
暖房があつすぎる	道路整備をきれいに
暖房が調整できないのを改善したい	道路を綺麗にしたい。
トイレの洋式増やしてほしい	道をきれいにしてほしい
トイレを増やしてほしい	道をきれいにしてほしい
トイレを新しく増やしてほしい	歩道を広くしてほしい
学校のトイレを新しくして増やす	歩道と車道の整備
トイレの数を増やしてほしい	事故が多い、運転が荒い
トイレの便座を直してほしい	車と歩行者の死角をもっとなくしてほしい
洋式トイレを新しくしてほしい	冬の歩道の雪をなくしてほしい
洋式トイレを増やして欲しい、便座に蓋が欲しい、暖房便座が良い	冬の交通が不便
学校のトイレを洋式に変えてほしい	バスや電車を増やしてほしい
学食を作ってほしい	バスを増やしてほしい
学食を作ってほしい	バスを増やしてほしい
学食を作ってほしい	バスの増便
学食	バスか電車を増やしてほしい
学食がほしい	バスの本数を増やしてほしい

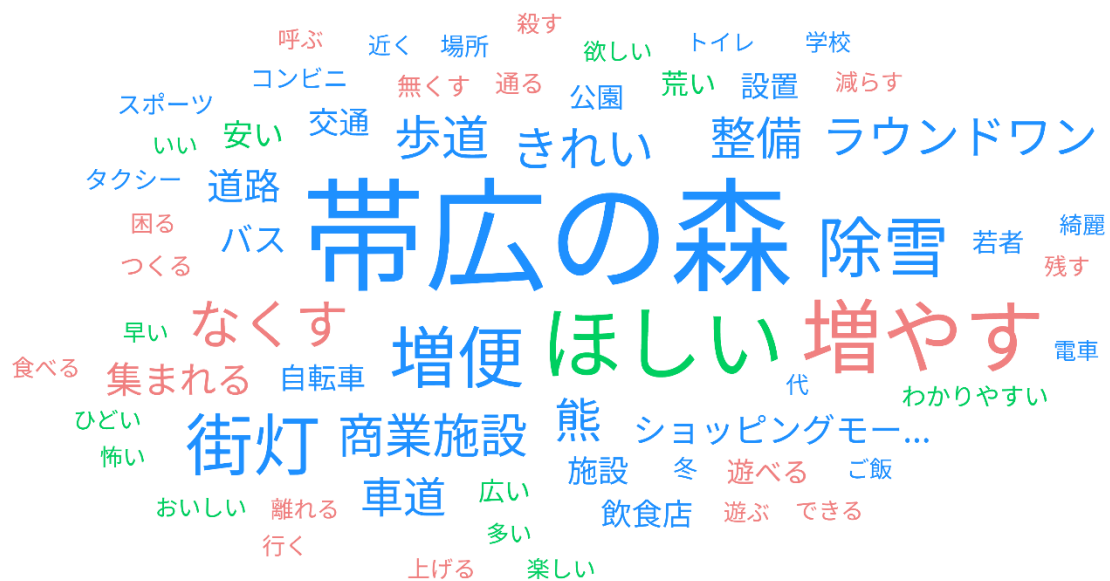
食堂がほしい	バスの増便
食堂	バスの増便
学食	交通の利便性向上
学生食堂がほしい	冬の除雪をもっと早くきれいにしてほしい
学生食堂がほしい	冬の除雪を早くしてほしい
学生食堂をつくってほしい	除雪を早く
学食が欲しい	除雪をもっときれいにしてほしい
給食がほしい	通学路の除雪と清掃
机を大きくしてほしい	除雪を早く
イスがかたい	熊が怖いので何とかしてほしい
木の机を変えてほしい	熊対策
座り心地の良い椅子にしてほしい	クマの脅威を減らしてほしい
机と椅子の刷新	熊退治
大きい荷物を入れることができるように1人ずつのロッカーを用意してほしい	熊が多いのでハンターをすぐに出動できるようにしてほしい
鍵付きのロッカー	熊を殺さないでほしい
フリーWi-Fiの整備	虫がひどい
アクセス制限はずしてほしい	公園をもっと増やす
タブレットを自由につかいたい	自然を残してほしい
学校でスマホを使えるように	公園のトイレを綺麗に
学校にシャワールームがほしい	公園のトイレをきれいにしてほしい
学校のシャワー室設置	病院代 20 歳まで無償に
学校にエレベーターをつけてほしい	帯広も医療費ゼロにしてほしい
エスカレーター設置	みんなが遊べる場所
スポーツに対していい環境をつくってほしい（サッカーの人工芝とか）	ショッピングモールが欲しい（若者が行きたい場所）
サッカーコートを人工芝に	子どもの遊び場
トレーニング室の器具を刷新	遊ぶ場所がほしい
ウエイトの器具を増やしてほしい	商業施設を増やしてほしい
第二体育館の床の改修	若者が遊べる施設（ラウンドワンなど）
給水場所増設	有名なショッピングモールがほしい
学校内にスタバ	ラウンドワン
アイスの自販機	帯広の森にコンビニ
アイスの自販機がほしい	学校の近くにコンビニ
アイスやお菓子の自販機がほしい	帯広の森にコンビニがほしい
アイスを置いてほしい	帯広の森に温泉とサウナがほしい

アイスとお菓子を売店に	大きな商業施設
アイスの自販機	安くても量が多い飲食店
校内の自動販売機増設	坂の上（学校近く）にコンビニ
自販機の値段をもっと安くしてほしい	ファミリーマート
購買で peypey を使えるように	パワック（帯広の森の食堂）を増やしてほしい
部費を増やしてほしい	スポーツメーカーのお店
部活時間の見直し	できるだけ既存のお店を無くさないでほしい
部活の時間を決めてほしい	学校近く（坂の下）にご飯屋さんを増やして欲しい
部活遠征費用が欲しい	宗教に配慮した飲食店が欲しい（外国人の同級生が困っている）
学校の電波をよくしてほしい	楽しい施設を増やす
学費を安くしてほしい	娯楽施設を増やしてほしい
教材を安くしてほしい	親元を離れてきている人用の子ども食堂のように集まって安くておいしいご飯が食べられる場所があったらいい
帰省の公欠を認めてほしい	町の意見箱が欲しい
小中学校などの 20 分休みがほしい	スポーツ施設の高校生無償化
駐輪場と玄関を近くしてほしい	タクシーの学割
ジャージを変えてほしい	消費税をなくしてほしい
教室で動物（ハムスターや鳥）を飼う	時給を上げてほしい
もっと自由な校則に	食べ物を安く
修学旅行で髪を巻いても怒らない	ペット用品を安くしてほしい
エアコン以外で教室を楽しくしたい	下宿性に寄付金を配布
免許に条件つけてほしい	1 人暮らしの給付金がほしい
学校所有の寮	ガソリン代を安くしてほしい
学校が始まる時間を遅らせる	公立理系大学がほしい
学校の所在地の検討	相乗りタクシー
	ゴミの分別をなくしてほしい
	坂をなくしてほしい
	もっとライブや有名人を呼んでほしい
	看板の設置
	青少年保護法の強化
	教室にエアコンを設置するための支援

学校に関することのテキストマイニング (スコア順)



地域に関することのテキストマイニング (スコア順)



5 総 括 目的は概ね達成だが、今後に向けては改善の余地がある

本町議会は「2」の事業目的を達成するために、高校側は「①：将来の自分の姿を考えることで、就職・進学後の目的意識を醸成させる。」「②：その上で、将来自分が住む自治体との関わりを考えることで、地方自治の担い手としての意識を持たせる。」「③：芽室町議会議員との交流を通じ、異世代とのコミュニケーション能力の資質を深める」という、それぞれの目的を達成するために実施した事業である。

選挙権年齢が18歳以上に拡大された今日、政治や地域社会を「遠いもの」としてではなく、「自分たちの問題」として捉えられる実践的な機会は不可欠である。将来・現在の有権者である高校生に政治や地方自治を「自分事」として考えてもらい、政治参加への意識を高め、議員と直接対話することで、議会活動や議員の仕事に対する関心と理解を深め、議会を身近に感じてもらうことにつながる。

議会側の利点としては、若者の「生の声」や視点、関心事を直接聞き取り、それを政策立案や提言、議会活動に活かすことができるということであり、さらに、議会活動を高校生に広く周知し、多様な世代との接点を持つことで、開かれた議会、信頼される議会を目指すものである。実施後の生徒のアンケート結果の傾向や自由記載からも、事業実施の意義は大きく、「地方自治の担い手意識の醸成」、「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」につながる事業であると考えられる。

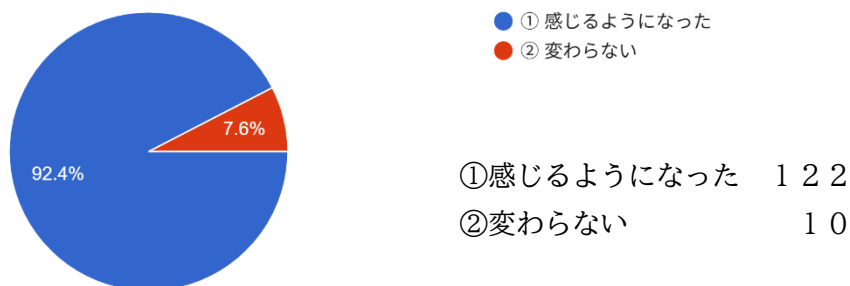
また、今年度より、議会の役割と現状、広聴の仕組みについて講義する時間を設定し、生徒にも日々の生活の中での要望等を考える時間を設定した。議員の振り返りの中では、「テーマの設定については毎年度検証が必要」、「目的とテーマ設定に乖離がある」、「この事業は地方自治と民主主義の未来に資する投資である」という意見が出された。

次年度に向けては、あらかじめ、議会全体で当該事業の目的意義を共有した上で、実施内容、グループワークのテーマ設定等を整理し、学校側と早い時期から協議を行い、より充実した事業効果を目指すこととする。

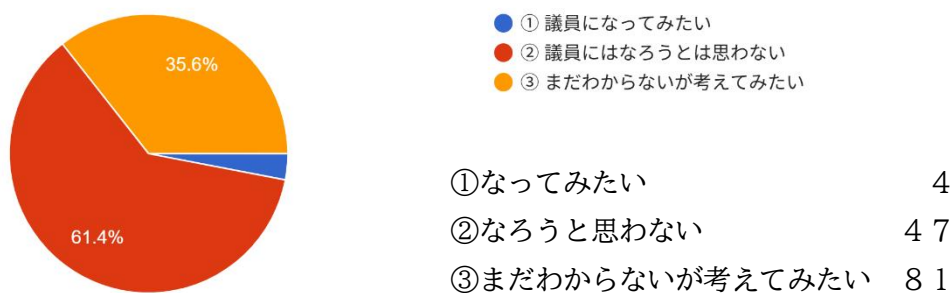
令和7年度 白樺高校（3学年）包括連携協定事業 アンケート結果
（5クラス：回答 132 名）

令和7年 11 月 15 日集計

設問1 1年生の時に議場体験、3年生の時に議員...議会や議員が身近に感じるようになりましたか？
132 件の回答



設問2 議員になってみたいと思いますか？
132 件の回答



設問3 議会や議員を身近に感じたり、まちづくりに関心を持つには、議会は何をしたらいいと思いますか？（129件の回答）

- ・ SNS 活動
- ・ 興味を持つ
- ・ 若い人にも関心を持ってもらうために、SNS でも選挙の投票を出来るようにする
- ・ 選挙に行かせるよう呼びかける
- ・ もっと若者との意見する時間など関心を持つきっかけを作るべき
- ・ 今回のような交流などを増やしていくことで、身近に感じられ、関心をもてると思います。
- ・ もっとみんなの意見を取り入れる
- ・ 会話の機会を増やしたらいいと思う
- ・ 町の人たちに要望や意見を聞き、取り入れていくといいと思う。

- ・若者の意識が向くようなことをする
- ・様々な小中学校、高校にいて身近な声をもっと聞いてほしいと思いました。
- ・一般市民に意見をきく
- ・色々な人からの意見をきく
- ・今回のように高校生や中学生が町に対して思っていることを言う機会を作ることが重要だと思う。
- ・こういう活動を通して沢山町の人の意見を取り入れて町をよくしてほしい
- ・こういうようなイベントというか、色々な学校に行って意見を聞いてみるなど
- ・まちをはってん！！
- ・若い人たちの意見に耳を傾ける
- ・地域との意見交流をしたりするといいと思います。
- ・意見を参考にする
- ・地域が良くなるように話し合いをして良くなるような決断をしてほしい
- ・今回みたいに学校などでのデスカッションを増やして行くことで関心を持つ人が増えていくと思う
- ・街を第一に
- ・学生だけでなく、いろんな職業の方から意見を取り入れることで様々な方向からの意見を取り入れられると思いました。
- ・今回みたいに生徒や地域の人たちから意見を聞く場を設けたら身近に感じたり、関心が持ちやすくなると思う
- ・難しいと思うが、大きい課題から片付けるのではなくまずは小さな課題から実行していき市民の関心を掴んでいく事が大切だと思う。
- ・もっと PR をした方がいいとおもった
- ・話し合い
- ・若い人の意見が少ないけどその意見を聞くべきだと思います
- ・聞いた意見を通す
- ・町を見渡すべき
- ・地域に密着していろいろな人の要望に答えるのが議員の仕事だと思った
- ・地域に密接にかかわり合うこと
- ・若い人達に意見を聞く
- ・楽しい施設をいっぱいあればいいと思います。
- ・今回みたいな若者の声を直接聞いてみるなどがとても大切だと思った
- ・まちが少しでも良くなるように話し合う
- ・SNS を使うといいと思う
- ・地域の人たちの意見を聞いたりしたら良いと思う。
- ・芽室議会で議論した内容を中高生でもわかりやすく動画で 10 分程度に解説しまとめる、その動画社会科目の授業で流してみるなどどうでしょうか

- ・このような感じで学校に来て触れ合っていくことで議会などと近く感じることができるのではないだろうか
- ・地域の人たちの意見を聞いたりしたら良いと思う。
- ・今日みたいな交流をして楽しく知れる機会を作ったらいいと思います。
- ・地域のためになること！
- ・街のことを考えて、いい環境を作る
- ・SNSで配信
- ・たくさん交流を増やす
- ・興味を引くことが大事だと思う
- ・住むところをよくする
- ・皆の意見を受け止める
- ・住民に寄り添う
- ・わからない
- ・意見を聞き入れて交流する
- ・街をもっと騒がしく楽しい場所にする
- ・フラットに学生と接してみる
- ・snsで発信
- ・若い世代にも分かりやすい話をしてほしい
- ・地域活動として学校と一緒にイベントをする
- ・定期的にアンケートを取って意見を取り入れたりして、自分の意見が叶うってわかればもっと関心を持つと思った。
- ・もう少し関わりを増やす。特に中学生、高校生など
- ・もっとプレゼンする
- ・イベントを設ける
- ・選挙行ったらお金がもらえる
- ・もっと若者が理解しやすいような説明を心がけた方がいいと思う。
- ・実際に会って関わる機会を多く作ると思います
- ・今回みたいな議員の方と交流できるような場を設ける
- ・もっと高校生や学生などとの交流が増えたらいいと思う。
- ・もっと深くかかわる
- ・地域をもっと盛り上げる
- ・今日みたいな場をもっと設けて議会の魅力などを広めていく
- ・こう言った活動をもっとすること
- ・楽しいところをたくさん作ればいいと思います！
- ・今回のような考えを伝え合う交流があるといいと思った
- ・どの世代にも寄り添っていただけるような活動だったり、街をより良くしていただけるような活動もして頂きたいです。

- ・今回のような学校訪問がとても効果的だなと思います。
- ・みんなの意見を聞く
- ・SNS をしたらいいと思った
- ・交流などを増やして、若い人たち中心に いろんな意見や要望を聞いて頂けたらなと思います。
- ・地域の人も含めた話し合い
- ・こういう議員の人との関わりを増やしていけばと思いました
- ・街の整備をすること
- ・要望に一つでも応えるそしたら本当に叶えてくれるんだと言う信頼につながる
- ・その町に住んでる年代に合わせて企画を考える
- ・若い人に楽しんでもらえる世の中になるように
- ・大変だと思うけど、月に一度ぐらいに郵便で日常生活でのアンケートをばしたらいいのかなと思いました
- ・スマホで簡単に確認できたり、投票ができたりすると思う。
- ・要望を聞いて街のために色々な話し合いをする。
- ・若い人との交流
- ・SNS を使い呼びかけていくことが大切だと思います
- ・子供のことを考えた政策
- ・地域のイベントなどで議員の人と直接関われる機会を増やす
- ・街に必要なものを増やしていく
- ・Sns で宣伝する
- ・全ての年代の意見をきく
- ・いろんな宣伝や、交流したらいいと思う。
- ・分かりやすくする
- ・若い人の意見を積極的に取り入れていってほしいなと感じました
- ・議会で可決されたことをわかりやすく知る機会があればいいと思った
- ・若者に分かりやすい説明などをした方が、選挙も取り組んでくれると思うから、SNS などを使うのもいいと思った。
- ・情報発信などをして、気軽に意見できるということを推していったらいいなと思います

設問4 感想や意見などご自由にお書きください。(要望なども)(84件の回答)

- ・たのしかった
- ・楽しかった
- ・選挙に少し興味を持った
- ・とても楽しかったです
- ・町への要望などいう機会がなかったのでしっかり伝えられてよかったです。成人もして選挙がもっと身近になったのでいいきっかけでした。

- ・たくさん色々なことを知れて、良い経験になりました。
- ・自分たちの町にどのようなものが必要かなどいろんな人の意見などまだまだ町はより良くなっていく考えがたくさんありそうだなあと感じました。
- ・他の人の未来のやりたいことなどがわかった
- ・十勝は酪農や農業が盛んなのでそれを活かした取り組みをもっとやっていくといいと思いました。
- ・たのしかったですあ
- ・議会や選挙に対して関われてとてもいい機会になりました。
- ・楽しかった！いい経験ができたと思う
- ・今回このようなことをした事によって人生のプランも楽しく考えれたし、要望も言えたので良かったです
- ・ありがとうございました
- ・すごく楽しかった
- ・議員さん方とこのような形で交流することができて楽しかったし、自分も地域について考えることができました！
- ・関心を持てた授業でした。
- ・将来のことをしっかりと考えたり、議会について知れて良かった
- ・あまり地域との関連のことは考えたことがなかったがこのような機会で考えることができて自分のためになったと思う。
- ・選挙には投票しに行った方がいいとわかった
- ・こうなったらいいななどの思いを、紙に書いたりみんなで話し合うことで、たくさん意見があり、全てではなくとも願いを実現することで帯広や芽室など十勝はもっとより良い街になると思いました。
- ・地域や議会のことに関心を持つことができた
- ・みんなでしおりに考えを書くことによりしおりの多さに驚きそしてまた、課題はまだ沢山あると感じました。
- ・将来について具体的に知れて楽しかったまだやりたい
- ・楽しかったです
- ・議員になりたい
- ・普段考えないようなことを深く考えるだけでなく、他人の意見を多く聞けて新鮮な体験となった。
- ・特にありません
- ・楽しかったです。
- ・選挙についてや議員についても詳しくしれて興味が湧いた
- ・10年後の自分の将来について考えることができて良かった。また議員の人と交流できて・楽しかった。
- ・特にないです

- ・芽室議員自らがお越ししてもらったので身近に政治分野を感じることができました。社会について、自治体関係者に意見を言うことができてよかった
- ・やっぱり自転車の道を作って欲しいマジで
- ・議会のことを身近に感じることでたくさんの人の支えがあって町がうまく回っているだなと改めて思いました。
- ・楽しかったー！！
- ・色んなことを学べて、皆のこともしれて良かった
- ・自分の将来のことを考えられたからよかった
- ・あまり地域との関わりを考えることがないのでいい機会だと思いました
- ・今回の授業を終えて地元で貢献して行きたいと思いました。
- ・こんなことみんな考える機会がなかったので楽しかったです
- ・将来について考えることが少なかったなのでこの機会に考えれて楽しかった
- ・このような会を作ってもらったので、将来に繋げていきたい
- ・もっと芽室町は都会にして欲しい、あとら嵐山をもっといいスキー場にして欲しい
- ・政治について関心を持ってました
- ・普段は関わる事ができないから貴重な経験をできてよかった
- ・今日の話したことで少しでも政治に関わりたと思いました。
- ・10年後の事はしっかり考えた事が無かったからこういう機会に考えれて良かったです。議会の人から選挙についてや、街の事を聞けて議会について興味が沸きました
- ・楽しかった
- ・10年後の自分のやりたいものや挑戦したいことを実現できるようにしたい
- ・グループワークをしてみて周りの意見を知れて共感できました。楽しく話し合いできてよかったです。
- ・楽しかったです！
- ・地域との関わり方を考え、深めることができた。
- ・今日この授業をすることで自分の将来のことを考えるきっかけにもなったし選挙は議会のことを今まで以上にしれて自分の為になって良かった。
- ・未来が楽しみ！
- ・10年後のことをよく考えたことがなかったからいい体験ができた
- ・自分の将来についてあまり考えることが意外となかったんだなと感じてこれからはもっと考えていこうと思った
- ・興味がない人もいると思うので吐き出す努力も必要なのかなと思った
- ・話すの好きだから、話し合い楽しかったです！ありがとうございました！
- ・考えを言葉や書き出したりすることであらためて考えられた
- ・未来のためにたくさんの人と意見交流することができ、自分では考えられないことや思い浮かばなかった意見もあり、すごくいい時間になった、
- ・みんなとこのような話をできる機会は中々ないので新鮮で楽しいなと感じました。

- ・とても楽しくみんなと話し合えてよかったです
- ・芽室町は地域の人のことを考えているんだなと思いました
- ・10年後について考えてとても楽しかったし、要望もいっぱい話せてスッキリした
- ・ありがとうございました。
- ・ぜいきんをさげてほしい
- ・とても勉強になりました
- ・議員の方にわかりやすく進行をしていただけて、スムーズにできてよかった。
- ・ありがとうございました！楽しかったです。
- ・自分を見つめ直すいいキッカケになった
- ・グループワークを通して10後自分がどうなりたいか、自分が住む地域がどうなっていてほしいか考えることができてよかったです
- ・西から稲田のバス、じょせつ
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・未来のことを話せてこれからが楽しみになりました。
- ・ふるさと納税の返礼品を野菜以外にも増やしてほしい
- ・普段考えることがなかったので考えてよかったです。
- ・帯広の森にコンビニを作してほしい。
- ・グループワークで意見を出し合う事で様々な視点から物事を捉える事が出来たのでとても楽しかったです
- ・今日の話し合いで大変さを知れた
- ・10年後、20年後の事はこれから考えてけば考えていくほどもっと思うことは出てくると思うので、これからも考え続けて貴重なものになったって思えるようにする
- ・新しい視点ができて良い時間でした
- ・たくさんお世話になってると思ったので少しでも力になれる様に協力していきたいです。
- ・今回の授業を通して今どうかはわからないのですが10年後あの時行っていたことはこうだったんだなと思えるようにしたいです。
- ・最近は考える機会などがなかったのでとても有意義な時間になりました。
- ・10年後っていう大人になった時の自分をしっかり考えたり地域にどうゆう風に関わっていくのかをみんなで考えることで大人になった自分をしっかり見れた
- ・優しい方ばかりで、やりやすかったです。
- ・一ミリも興味がなかったが、議会の人達のおかげで暮らしやすくなっているんだな—と思いました。
- ・選挙に行こうと思いました！
- ・他人事ではなく自分の未来を自分で考えていきたいと思いました
- ・ウエイトの器具増やしてください
- ・若い人たちのことを考える対策が少ないので増やすと若い人も増えると思う
- ・一つでも出した要望が叶えば良いと思う

- ・ またやりたいと思った
- ・ 自分の地域や将来、議会などの事について普段よりも楽しく考えることが出来て周りの意見を聞いて納得することや自分の考えの幅が増えました。
- ・ 普段考えたことがなかったからとても新鮮で地域のことを考える良い機会になった

[illegible]

議会 10年後

暮らしやすい 芽室町

グループワーク 意見 話し合う 考える

選挙 議員 知れる 交流 授業 興味 わかりやすい 新しい 実現 重い 深い 聞ける 視点 ありがとう 持てる 話し合い 話せる 関わる 考える できる 作る 無い 今回 未来 普通 感じる 書く 体験 多い 政治 経験 地域 機会 よい いい ほしい 少ない わかる 増やす 身近 関心 やりやすい 詳しい すごい 増える 楽しい 要望 しれる 行く

令和7年度 白樺高校（3学年）包括連携協定事業 アンケート結果
（担当議員：回答14名）

令和7年11月15日集計

設問1 当日の運営について（方法、内容、進行など）

- ・概ね良かったと思います。
- ・特に問題はなかったが、全体進行役についてはそれぞれの常任委員会で担えるような体制が必要だと思う。
- ・自分の進行の仕方が悪かったのか、生徒の質問に答えていたのみで、生徒同士の10年後自分を聴きだすことができませんでした。
- ・別に問題がないと思います。 よろしかったと思います
- ・今回は、なかなか話が弾まず、ファシリテーターとしての力量不足を感じました。逆に、おふざけが多いグループワークもあり、難しかったです。
- ・概ね良好でした。
- ・概ね良好
- ・議員のタブレットを教室の電子黒板に画面共有しながら進行できた事が便利であった。投影資料以外にも議会HPからの引用など臨機応変に進行する事ができた。
- ・特に問題なく進行できた
- ・今のままでも問題ないが、ラウンド5以降の政治関連の内容に関しても旬な内容も盛り込めると良いのかなと感じた。学生の中には史上初の女性総理に関心を持っている方もいたので。
- ・今回の「白樺学園高校との連携事業」において実施した「10年後の自分を想像するワークショップ」については、その内容が事業目的である「地方自治の担い手意識の醸成」や「議会活動の認知度向上」と必ずしも直結しているとは感じられなかった。このようなテーマ設定であれば、議員が直接出向いてファシリテーターを務める意義が十分にあるとは言い難く、「なぜ議員が行う必要があるのか」という点が不明確である。
- ・意見交換の時間も確保されていて、良かったと思います。

設問2 グループワークの中で出た意見等を踏まえて、議会として参考になったこと、
取り組んではどうかということがありましたら記載願います

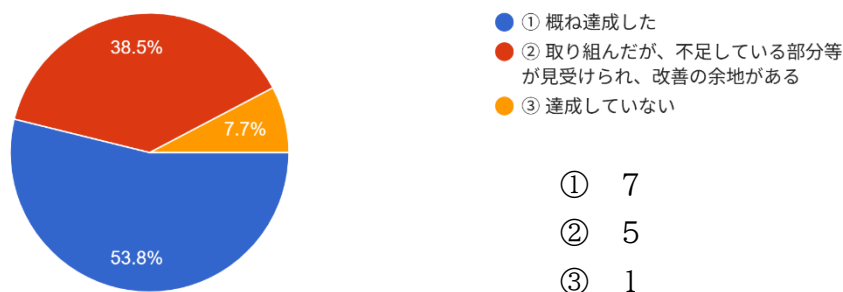
- ・若い人(18歳)が選挙に興味持つ、投票に行くにはと聞いたところ学校に投票箱を持って来て欲しいとの意見があり、特老施設等において実例があることから、議会として出来ないか？
- ・予算の仕組みをザックリお知らせ
- ・生徒は議会の事が良く分かりますが良かった、議会として参考になったことは、少なかったと思います。
- ・10年後の目標設定を決めてもらい、どうすれば目標達成できるかを考えてはどうでしょ

うか。

- ・選挙に対して興味が無いことが明確で、興味をもてるような具体的な選挙のテーマ設定が必要。
- ・早い段階から議員と接する機会があれば政治や議会に感心を持てるという意見が多く聞かれた。事業のあり方含めて議員間による意見交換が必要と感じた。
- ・部活動に関する旅費等支援要望の意見があった。担当課では野球とその他の部活動に関する補助制度を一本化する見直しを行なっているのでその経過については注視していきたい。
- ・運動部の方は美味しくてボリュームのある食事を求めているが、10年後の自分や社会を遠く感じているようです。
- ・若い方の関心や参加を促す上では、既存のやり方を踏襲しつつも突飛と思えるような意見も参考にする姿勢は必要であると感じた。学生の意見にはスーツだと堅いイメージで親近感がわかないなど。
- ・仕事を通して、住む地域との関わりを持ちたい。自分の住むまちづくりに参加を望む生徒の声が多くあり、本当の10年後の姿を見たいです。

設問3-1 事業評価について（目的の達成度）

13件の回答



設問3-2 上記で②と③と回答した方は具体的に記載願います

- ・設問「10年後」を想像するのは結構難しいことと感じた、特に今回は。
- ・3年生、この時期進学、就職が概ね決まり、①②③のテーマより卒業後の様子が主でした。
- ・テーマの設定も再度確認。目指すところの議会としての共有
- ・単発の事業では目指す目標への達成度を高めることが難しい。
- ・連携事業は現在、1年生と3年生を対象にそれぞれ実施しているが、一人の生徒に対して議会が2回関わることの効果については明確ではない。また、今回は議会の仕組み（広聴、請願・陳情など）について説明する時間を設けたが、議会視察の資料をもとに説明しても、内容や用語が難しく、生徒には十分に理解されていないように感じられた。そもそも議会の基本的な仕組みや役割については、学校教育の中で学ぶべき内容であり、議員は

教員の代わりを務める立場ではない。議会が関与する場合は、その特性を活かし、学校教育と補完し合うような形を検討する必要があると考える。

設問4 全体を通してお気づきの点等、何かありましたらご自由に記載願います

- ・生徒から出された要望等についての取扱いを今後どうしていくか。議会として取り扱えるものは少ないかもしれないが、何かしら政策につなげられるものがあれば検討する必要があると思う。
- ・この白樺高校との包括連携事業については、単に若者の意見を「聞く」という行為に留まらず、事業目的にあるように「地方自治の担い手意識の醸成」、「議会活動の認知度向上」、「まちづくりに関心を持ち参加する機会」であり、議会が「未来の有権者」と対話する姿勢を示すことで、民主主義を持続可能にするための重要な装置だと思う。選挙権年齢が18歳に引き下げられた現在、政治や地域社会を「遠いもの」としてではなく、「自分たちの問題」として捉えさせる実践的な機会は不可欠であり、単なるイベントとして数合わせで参加するのではなく、地方自治と民主主義の未来に資する投資であるということを、議員がしっかりと認識する必要があると感じた。
- ・休み時間、弁当、ごはんはもとより、お菓子、ジュースと飲んでいる事、かつて見たアメリカのスクールと同じでビックリした。
- ・生徒たちは真摯に各ラウンドでの問いに応えようと取り組んでいた。終了後のチェックアウトでは、こうしてクラスメイトの考えを聴き合うのは初めてでよい機会だった旨の感想が例年ある。本事業についての成果を問う声が議会内にもあるが、この事業が目指す目標の一つにある主権者意識の醸成については KPI などを用いて目に見える成果を直ちに求めることは難しい。今年まいた種がいつの日か芽を出すことに期待したい。議会が学校に出向き高校生たちと対話の場を継続していく姿勢を見せることに先ずは大きな意義があると思うが、可能であれば今回生徒たちから出されたような要望事項を磨きあげ、請願、陳情などにまとめ上げ議会に届けるまでをいつかサポートしてみたいとも考えている。
- ・時間が足りない感じで後半からはしよった感があった
- ・クラスによってばらつきはあるものの学生側も積極的に参加してくれているので引き続き取り組みると良いと思います。
- ・生徒からは「議員と直接話すことで身近に感じられた」との感想もいるが、議会の関与が中心となりすぎており、学校側の教育活動としての主体性がやや見えにくい印象がある。
- ・農業(畜産)を継ぐという2人の生徒がいました。地域の仲間とこれからの農業を話し合う場を持ち、地域との連携を大切に経営を進めたいと話していました。共に十勝の生徒でしたが、応援したいです。